



ISO9001認証
JQA-3190
本社自動ドア部

FUSO

Electric Industrial

Corporate profile

Automatic Doors

会社案内

IDED03

IDED09

IDED10

IDED11

IDED12

IDED13

IDED14

IDED15

最先端の技術と
豊富な経験を活かして
社会に貢献してまいります。

Best Service with Advanced Technology
and a Plenty of Experience.



ごあいさつ

「つねに時代のニーズに対応できる製品を提供する」というモットーを私たち扶桑電機工業は1932年の創業以来、守り続けて来ました。「ニーズを掘り起こす、斬新なアイデアを社会に提供したい」という強い思いを抱き続けて今日に至ります。

私たちの主力製品である、電球、自動ドア、電子機器の分野は、技術の進歩とともに、目覚ましい発展を遂げることができました。

半世紀以上にもわたる経験と、時代の先端をゆく技術・開発力のもとに生まれる“フォーカス・ブランド”の電球。開発力と技術力に高い評価を得て消防庁長官賞を受賞したパニックシステムを生み出した“ドリームブランド”の自動ドア。そして、これらの製品をベースに電子機器関連の分野で情報化社会の中核を担う、エレクトロニクス分野でも成長し続けております。

これからの時代を見据え、現在はアジアを中心とした海外向けの商品の開発に力を注いでおります。例えば自動ドアの分野では、優れたデザインと低価格を実現しているヨーロッパの同業他社を上回る製品を誕生させることを目標に努力を重ねております。

日本は職人の匠の技を武器にあらゆる面で成長してきた国です。「モノ作り」に関して、私たち日本人には伝統と経験という強みがあります。今、どのような業界でも価格競争が重視される風潮がありますが、日本人が世界に誇れる「ゼロから生み出す力」を武器に、世界各国から、今以上の信頼を得て、さらなる発展を遂げることを目標に、時代をリードする製品を開発してゆく所存です。

まだまだ、至らぬ点もありますが、今後とも皆様方の変わらぬ、ご指導ご鞭撻、そしてご愛顧を心よりお願い申し上げます。

取締役社長 佐野 健二郎

Message from the President

Since established in 1932, we FUSO ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. have adhered to our slogan “Provide products which can comply with the needs of the age constantly”. We continue to this day to hope that we can produce innovative ideas which can boost the needs in our society.

Business areas of electric lamp, automatic door, and electronics device, which constitute the main part of our business, have achieved a remarkable development with the advancement of technology.

“FOCUS” brand electric lamp is created by more than half-century of experience and cutting-edge capacity for technological development. “DREAM” branded automatic door is equipped with Panic System which won the prize of chief of Fire and Disaster Management Agency for it's highly evaluated capability of technology and development. And with these products we continue to grow in the area of electronics device, which plays a central part in this new information society.

For the age to come, now we focus more energy on product development designed for oversea markets including Asia. For example, in the area of automatic door, we intensify our effort to create a new product which can exceed the product of European competitors who have good design and achieve low price.

Japan has now grown up in depending on craftsmanship on all sides.

As for manufacturing, we Japanese have strong points in tradition and experience. Now there is a trend toward emphasis on price cutting war all over the industries. But it's our desire to develop new products that will lead in the new era. We set ourselves the goal of growing further and winning even more trust from all the countries of the world, making use of the creating skill from scratch that Japanese can be proud of.

We will keep trying to live up to your expectations.

Your continuing support will be greatly appreciated.

Kenjiro Sano
President

SYSTEM

時代を先取りする研究開発体制

R&D on ahead of time

これまでメーカーの役割といえば、時代のニーズに即して製品開発を進めて行くことでした。しかし、ニーズが多様化し社会が複雑化してくるほどに、自ら時代の行方を把握して、新たな製品として社会に提案する開発力が問われるのも、これからのメーカーの姿です。

扶桑電機工業が、製品開発においてつねに念頭に置いているのも、そのような社会と製品の係わりのなかで、次代に何が必要かということです。例えば、電球では単に光源としてだけでなく、その光源を活かすことで何が可能かを考えることです。その結果が、特殊電球の分野で確固たる地位を築いてきたと自負しています。

時代が大きく変わろうとしている中で、私どもの電球、自動ドア、電子機器は、ますます社会の発展に欠かせないものになると思われます。時代を見据え・先取りして、社会の発展に寄与する技術を製品に活かすために、これからも全社一丸に研究開発に取り組んでまいります。

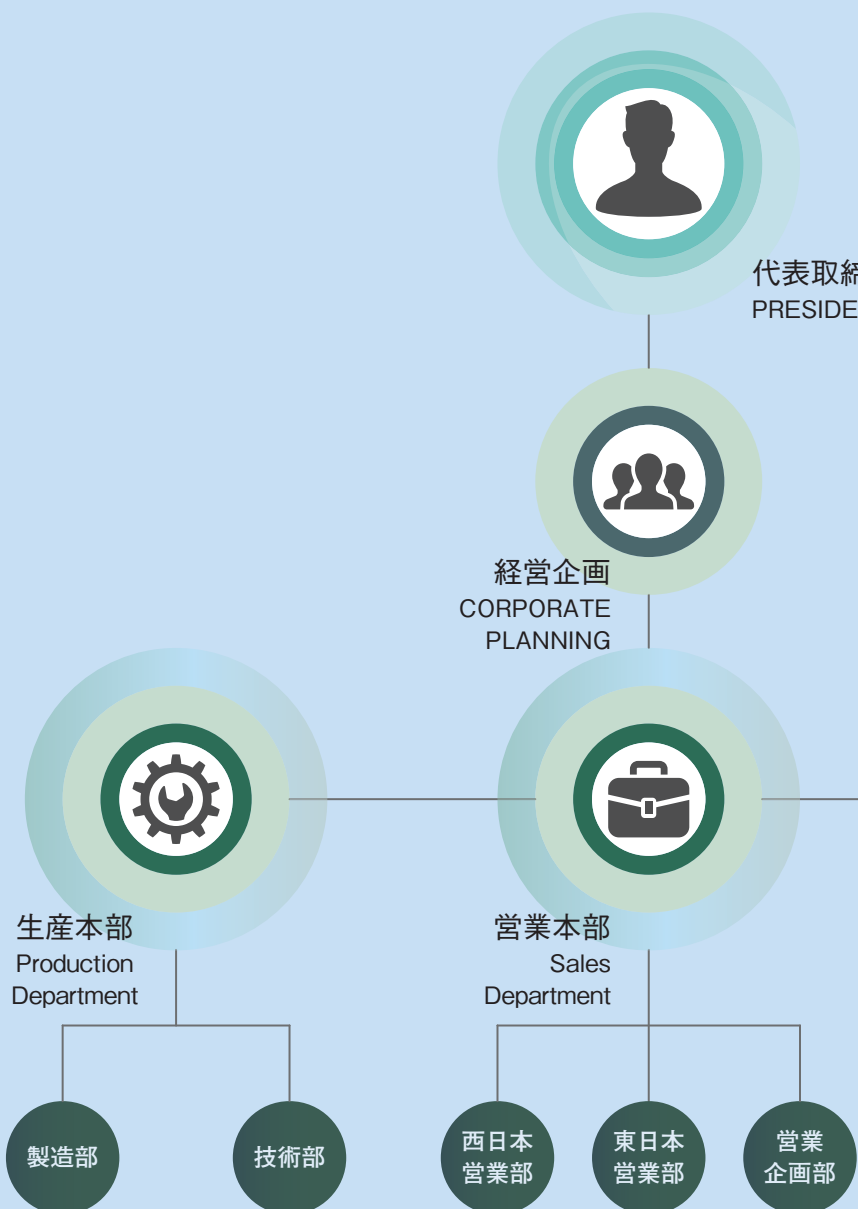
The conventional role of a manufacturer has been to develop products that fulfill the needs of the times. But as those needs diversify and society itself becomes more complex, there is a growing demand for manufacturers to forecast the future of society and develop products that generate totally new market needs.

The philosophy behind Fuso Electric Industrial's product development is to identify the needs of the times that link products with society. For example, here at Fuso Electric Industrial, we do not view a lamp bulb as simply being a source of lamp. We ask ourselves what we can achieve through the application of that lamp source. It is of pride to us that this approach has earned us an undisputed place in the field of special purpose lamp bulbs.

Today, when technology is advancing at a Dramatic pace, we believe that our lamp bulbs, automatic doors and electronic equipment will become indispensable to the development of society. Committed to research and development, we continue to anticipate and incorporate best technologies available in our products to fulfill the emerging needs of society.

組織図

ORGANIZATION CHART

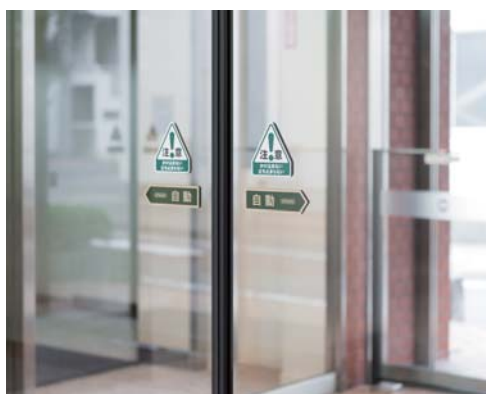


PRODUCTS

取締役社長
NT

管理本部
Management
Department

管理部



自動ドア AUTOMATIC DOOR

建物の構造が複雑になればなるほど、ドア構造もより機能的で安全なものを求められます。かつて、業界で初めてパニックシステムを開発したように、自動ドアの概念を根底から変える、先進の自動ドアの研究も私たちの課題です。



自動ドア
AUTOMATIC DOOR

dream

つねに新風を起こすドリーム自動ドア。

1961年、それまでは油圧式か空気圧式でしかなかった自動ドア業界に、画期的な電気式を開発して自動ドア業界にデビューしたのが、扶桑電機工業の「ドリーム自動ドア」です。以来、つねに業界で注目される斬新なアイデアと、電機関連部門で培ってきた技術力をベースに歩んできました。そして1982年、ジャパンショップで発表したドリーム自動ドア「パニックシステム」は、安全と防災面に画期的な製品として消防庁長官賞・グッドデザイン賞・インターフェイス賞などを授賞。これにより、技術のドリーム自動ドアとして業界でもリーダー的な地位を築いたわけです。業界をリードする「ドリーム自動ドア」は、これから斬新なアイデアで業界に新風を起こしてまいります。

Dream Automatic Door always setting a new trend.

Fuso Electric Industrial introduced its "Dream Automatic Door" to the market in 1961. This revolutionary new product featured for the first time an electric mechanism instead of the conventional hydraulic and air pressure mechanisms used to power automatic doors. Since that time the Company has developed and grown through the application of innovative ideas that have captured the attention of the industry, backed by technological expertise acquired in the area of electrics such as lamp bulbs. "Panic System", Fuso Electric Industrial's Dream Automatic Door announced at the Japan Shop in 1982 has won the Award of Director-General for Fire Defense Agency, the Good Design Award and the Interface Award for its revolutionary safety and emergency features. The development of this technological Dream Automatic Door has placed the company firmly in the position of industry leader. Fuso Electric Industrial will continue to change the face of the industry through new developments based on novel ideas.



アイデアと技術で業界のニューリーダー。

ドリーム自動ドアは、オフィスビル・各種ショールーム・ショップなどに広く普及していますが、その技術は特殊な環境下の扉にも活かされています。

そのひとつが、NHKと共同開発した防音自動ドアです。ハイビジョン時代の到来とともに、放送局のスタジオの遮音性も大きな関心事です。もともと遮蔽・遮音・密閉性には定評のドリーム自動ドアだけに、細心の精度が要求される放送施設での特殊自動ドアの開発が実現できたのです。また、病院の手術室や精密工場のクリーンルームの自動ドアにも多くの実績を持っています。



さらに、最近意欲的に取り組んでいるのが鉄道施設や列車内での自動ドアです。ホームの仕切りに使用されるドアは、人命にも関わるドアだけに確かな精度が要求されます。つねに振動している列車内のドアは、耐久性と安全性がより求められます。すでに新幹線・伊豆急行や船舶などにも採用されている実績は、ドリーム自動ドアの信頼を裏づけるものです。



自動ドアは、これからもさまざまな環境で活用されます。高度な技術力をベースに、アイデアを活かした自動ドア開発を、これからも進めていきます。



会社概要

PROFILE

扶桑電機工業株式会社

本社所在地 東京都品川区南品川6丁目3番10号
TEL. 03(3474)1200(代表)
FAX. 03(3474)5600

設立 昭和25年2月

資本金 払込2,050万円 授權8,200万円

取締役社長 佐野 健二郎

事業内容 ●自動ドア及び関連装置の開発・製造並びに販売

FUSO ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

LOCATION: 3-10, 6-chome, Minami-Shinagawa, Shinagawa-ku, Tokyo140, Japan
Phone: 03(3474)1200
Facsimile: 03(3474)5600

ESTABLISHED: February, 1950

CAPITAL: Paid 20.5 million Yen

: Given 82 million Yen

PRESIDENT: Kenjiro Sano

PRODUCTS: ●Automatic Door Operators

営業ネットワーク

本社<東日本統括>

〒140-8676 東京都品川区南品川6丁目3番10号 TEL 03(3474)1751

仙台営業所 〒983-0822 宮城県仙台市宮城野区燕沢東2丁目9番48号
TEL 022(252)7315

高崎営業所 〒370-0027 群馬県高崎市上滝町字榎木町469番地4
TEL 027(352)1202

静岡営業所 〒422-8063 静岡県静岡市駿河区馬淵4丁目12番21号
TEL 054(294)8271

HEADQUARTERS:

3-10, 6-chome, Minami-shinagawa, Shinagawa-ku, Tokyo 140-8676, Japan
Phone : 03(3474)1751

Sendai Office

9-48, 2-chome, Tsubamesawa-higashi, Miyagino-ku, Sendai-Shi, Miyagi 983-0822, Japan
Phone : 022(252)7315

Takasaki Office

469-4, Enokimachi, Kamitakimachi, Takasaki-Shi, Gunma 370-0027, Japan
Phone : 027(352)1202

Shizuoka Office

12-21, 4-chome, Mabuchi, Suruga-ku, Shizuoka-Shi, Shizuoka 422-8063, Japan
Phone : 054(294)8271

大阪支店<西日本統括>

〒530-0043 大阪府大阪市北区天満4丁目3番1号 TEL 06(6352)6970

岡山営業所 〒700-0945 岡山県岡山市南区新保655番地9
TEL 086(244)7360

高知出張所 〒780-0901 高知県高知市上町1丁目10番2号
TEL 088(871)0400

広島営業所 〒732-0066 広島県広島市東区牛田本町1丁目9番11号
TEL 082(221)3460

福岡営業所 〒812-0892 福岡県福岡市博多区東那珂3丁目1番35号
TEL 092(471)0900

OSAKA BRANCH:

3-1, 4-chome, Tenma, Kita-ku, Osaka-Shi, Osaka 530-0043, Japan
Phone : 06(6352)6970

Okayama Office

655-9, Shinbou, Minami-ku, Okayama-Shi, Okayama 700-0945, Japan
Phone : 086(244)7360

Kochi Liaison Office

10-2, 1-chome, Kamimachi, Kochi-Shi, Kochi 780-0901, Japan
Phone : 088(871)0400

Hiroshima Office

9-11, 1-chome, Ushitahonmachi, Higashi-ku, Hiroshima-Shi, Hiroshima 732-0066, Japan
Phone : 082(221)3460

Fukuoka Office

1-35, 3-chome, Higashinaka, Hakata-ku, Fukuoka-Shi, Fukuoka 812-0892, Japan
Phone : 092(471)0900



会社沿革

HISTORY

- 昭和 7 年 創業。現在地において電球製造を開始。国内をはじめ、広く海外にまで市場を求めて進出。
- 昭和17年 第二次大戦により海外市場を閉鎖。松下電器産業株式会社と合併、同社品川工場として「ナショナル電球」を生産。
- 昭和25年 海外市場の復活に伴い、松下電器産業より分離独立。「フォーカス」の商標のもとで日本工業規格 (JIS) 表示許可を受ける。
- 昭和28年 法人組織に改める。自動車用電球、精密特殊電球分野に進出。
- 昭和36年 自動ドア事業に進出。当時としては画期的な電動式を開発。
- 昭和39年 通信機器事業に進出。
- 昭和47年 自動ドア用電子マットの開発に成功。
- 昭和55年 新社屋完成。
- 昭和57年 日本初の画期的なパニック自動ドアシステムの開発に成功。'82ジャパンショップ消防庁長官賞受賞。
- 昭和59年 自動ドアの一貫生産システムを導入した新工場が竣工。
- 昭和61年 日本初のリニア式自動ドアを開発。'86ジャパンショップ システム技術開発賞受賞。
- 昭和62年 世界初の回転ドアシステムを開発。'87ジャパンショップ システム技術開発賞受賞。
- 昭和63年 東京ドームに新開発回転ドアが採用、設置される。JR東海・夢の超特急「リニアエクスプレス」(試作車)に当社開発のマイコン搭載自動ドアと超薄型電子マットスイッチが採用、設置。
- 平成元年 180度全自動オープン、独立サイドスライディングシステムの「ザ・シアター」が、'89年ジャパンショップ店舗総合見本市で技術開発賞受賞。
- 平成 2 年 スイングするスライド自動ドア「パニックシステム」がグッドデザイン商品の中で高度なインターフェイスを実現する商品と認められ、グッドデザインインターフェイスを授賞。
当社開発の「電球」がスペースシャトルに採用され宇宙に飛び立つ。
- 平成 5 年 防音・気密・電波シールドドアをNHKと共同開発。
- 平成 6 年 新幹線「MAX」に当社開発のDCブラシレスモーター搭載自動ドアが採用される。
- 平成 8 年 秋田新幹線「こまち」に当社製鉄道車輛用自動ドア採用される。
- 平成 9 年 バリアフリー商品として住宅用エレベーター向けWSライド自動ドア採用される。
- 平成11年 ISO 9001品質システムを「(財)日本品質保証機構」より認証取得。(登録証番号JQA-3190) 埼玉高速鉄道用「ホームの安全可動柵」に当社製自動ドア装置採用される。
- 平成15年 自動ドア装置のヨーロッパにおける拠点として、オランダに扶桑ヨーロッパを設立。自動ドア装置にCEマーキングを取得。
- 平成16年 九州新幹線において、ホーム安全可動柵に当社製自動ドア装置が採用される。
- 平成17年 愛知万博のアクセスとして、東部丘陵線にホームドアを取り付ける。
中国・上海地下鉄5号線、春申路駅ホーム安全可動柵に当社製自動ドア装置が採用される。
- 令和 2 年 高崎営業所 開設。
- 1932 Established, starting business of incandescent lamps for both domestic and foreign markets with "FUSO" brand.
- 1942 Merged in Matsushita Electric Group and started producing and selling "NATIONAL" lamps for domestic market.
- 1950 Re-established independence from Matsushita Electric Group, starting lamp business with "FOCUS" Brand. Permitted to use the sign of JIS (Japan Industrial Standard) on products.
- 1953 Incorporated. Added automotive bulbs and precision lamps into production line.
- 1961 Started manufacturing electric automatic door operators with the state-of-the-art technology.
- 1964 Started to produce communication products.
- 1980 New office building completed.
- 1982 Succeeded in developing the first Panic System automatic door in Japan.
- 1984 New production facility for automatic door was completed.
- 1986 Succeeded in developing the automatic door driven by linear motor.
- 1987 Succeeded in development of the first revolving door system unit in the world being installed at Tokyo-Dome Stadium next year.
- 1988 Fuso's automatic door operators equipped with a micro-computer developed by ourselves were adopted into Express Train "Linear Express" of JR Tokai.
- 1990 Sliding door named "Panic System" which can swing open was developed successfully. The "FOCUS" lamps developed by ourselves were applied in space shuttle aircraft.
- 1993 Succeeded cooperating with NHK in development of sound-proof, radio-shielded automatic door.
- 1994 Fuso's newly developed automatic door driven with DC brushless motor has been applied in JR Bullet Train "MAX."
- 1996 Our automatic door developed especially for railway transportation was adopted in Akita Bullet Train "KOMACHI."
- 1997 Fuso's telescopic automatic door was used for apartment house elevator.
- 1999 Obtained the ISO 9001 certificate issued by Japan Quality Assurance Organization.
The platform safety movable fence driven with our automatic door operator for SAITAMA Rapid Railway started operation.
- 2003 Fuso Europe was established in the Netherlands as a European branch for our automatic door operator. Received CE Marking on automatic door operator.
- 2004 The platform safety movable fence driven with our automatic door operator for Kyusyu Bullet Train started operation.
- 2005 Fuso's platform screen door started in operation for Tobu Kyuryo Line as access of Aichi Expo.
The platform safety movable fence with our automatic door operator for Chunshen Road Station of Shanghai Subway Line No. 5 started operation.
- 2020 Opened Takasaki Office.



福利厚生 WELFARE OF STAFF

扶桑電機工業では、従業員の健康と豊かな生活のために、常に職場環境や厚生施設の整備を行っております。全社員が利用できる「ブルーマーリン」と呼ばれる社員食堂。屋上にはゴルフ練習場が設置され、社員の健康管理の一役を担っています。またクラブ活動も盛んに行われ、社員の明るい人間関係と親睦に役立っています。優れた技術や仕事を生み出す原動力は、豊かな生活環境だと考えます。

全社員が活力ある明日を生きていくためにも、これからも職場環境と厚生施設の充実に努力していきます。

Fuso Electric Industrial is committed to improving the working environment and welfare facilities to ensure the good health and comfortable life of its employees. Among the facilities the company provides is the Blue Marlin cafeteria located in the new factory at the company's headquarters, which offers subsidized meals to all the staff. A golf driving range on the roof of the headquarters building help the staff keep in shape. The company also supports many social club activities which give the staff the chance to socialize and establish relationships with all employees. We believe that the driving force behind outstanding technology and work is a pleasant living environment. And the company continues to make every effort to provide a comfortable working environment and welfare facilities to ensure bright tomorrow for all the staff.





本社社屋 HEADQUARTERS



第一工場 FIRST FACTORY



第二工場 SECOND FACTORY



扶桑電機工業株式会社

FUSO ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

東京都品川区南品川6-3-10 TEL.03 (3474) 1200 (代表) FAX.03 (3474) 5600

<http://www.fusodenki.co.jp>

